

令和4年第1回郡家警察署協議会開催状況

開催日時	令和4年2月25日(金)午後1時30分から午後2時30分まで	
開催場所	郡家警察署	
出席者	委員 (定数5人)	植田会長、山根副会長、岡森委員、奥村委員、小谷委員 以上5人
	警察	岩城署長、中田管理官、河原生活安全刑事課長、伊藤地域交通課長、警務課員3人 以上7人
議 事 概 要		
<p>1 挨拶</p> <p>(1) 会長挨拶</p> <p>現在、新型コロナウイルス感染症のオミクロン株による感染拡大が続いている。県内東部においてもクラスターが発生しており、市中感染と思われる状況もうかがえる。</p> <p>各種警察活動でも制約が多いと思われる中、また、今年は積雪が多い中であつたが、郡家警察署では積極的な街頭活動で私たちに安心感を与えてくれることに敬意を表したい。</p> <p>先般、氷ノ山で遭難事故が発生したが、悪天候の中、遭難者を無事に救助していただいた。お礼を述べたい。</p> <p>(2) 警察署長挨拶</p> <p>昨年末から今年にかけ、当署管内で3件の特殊詐欺被害が発生したほか、年末には国道29号で高齢の歩行者が被害に遭う重体交通事故が発生するなど、住民の方々が不安に感じる事案が続発した。</p> <p>当署における昨年中の指標としては、刑法犯の認知件数は減少し、交通死亡事故ゼロを2年連続で達成するなど、一定の成果をあげたと考えているが、特殊詐欺等の被害や重体事故の発生は、住民の体感治安に直接影響してくるものであり、いかにして、こういった身近な事件・事故を防いでいくかということが今後の課題と考えている。</p> <p>そのためにも、この協議会から提言を受け実践している「警察活動の見える化」を引き続き強力に推進し、まずは住民の安心感醸成に努めていく。</p> <p>2 業務推進状況等説明</p> <p>(1) 生活安全刑事課の取組結果及び予定</p> <p>生活安全刑事課長から、年末及び年始における特別警戒取締りの取組結果、特殊詐欺被害防止対策の取組結果及び今後の取組予定について説明した。</p> <p>(2) 地域交通課の取組結果及び予定</p> <p>地域交通課長から、令和3年中の管内の交通事故発生状況と取組状況、地域に密着した警察活動の推進状況と今後の広報啓発活動の取組予定、氷ノ山における遭難救助活動について説明した。委員からの主な意見、質疑等とそれに対する警察の回答は次のとおりであつた。</p> <p>委員：雪により道路状況の悪い日が続いているが、交通事故の発生は増えているか。</p>		

警察：件数的には増加傾向にあると言える。降雪中の事故は少ないが、積雪によるスリップ、駐車場内での事故が多い。

委員：交通事故の発生は、高齢者が関わるものが多いか。

警察：人口比で言えば特段多いとは感じていないが、人身事故になった場合、重傷事故や重体事故になる割合は多いように感じている。

委員：八頭町地内国道29号の堀越交差点について、この協議会でもいろいろ意見が出ているが、地元からは様々な意見を聞く。

警察：同交差点に関しては、構造上の問題から抜本的な解決は難しいところであるが、地元意見を聞きながら、できる対応を行っている。

昨年11月には、横断歩行者用の信号機の待ち時間が長いとの声を受け、警察本部と連携しながら、歩行者用信号の周期を短縮するなど対応したところである。地元住民から様々な意見があることも承知しているので、引き続き行政とも連携しながら対応していきたい。

(3) 警務課の取組結果

警務課員から、新型コロナウイルス感染症対策、情報発信活動及び警察活動基盤の充実強化の取組について説明した。委員からの主な意見、質疑等とそれに対する警察の回答は次のとおりであった。

委員：男性の育児休暇取得は、なかなか先進的な取組だと思うが、実際に男性が取得するというのは難しいのではないか。

警察：県警察では、以前、本部長自らが男性の育児休業取得を呼び掛けるなど組織を挙げて取り組んできた結果、現在は、積極的に取得するという雰囲気が醸成されてきている。去年は、県議会でも「鳥取県警察の取組は全国的に見ても素晴らしい。」と評価いただいている。

(4) 令和4年鳥取県警察運営指針、重点目標及び推進項目の設定について

管理官から、令和4年鳥取県警察運営指針等の設定状況及び各項目についての説明を行った。

3 その他

次回協議会は令和4年6月頃に開催予定である。